

【外国語学部】令和7年度 FD活動の「年間計画」

1. 今年度の取り組み（前年度の「FD年間報告書」から修正）

今後の外国語学部の教育改革、特に令和8年度以降の学部改革を見据え、授業内容や教授法の見直し（教育の質的転換）が急務となっている。生成AIや翻訳アプリケーションの進化により、外国語教育のあり方や学習方法が大きく変化していることを背景に、これらのデジタル技術を活用した新たな教授法を導入し、実際の授業で効果的に活用することが取り組むべき重要な課題である。

学部FDでは、上記の知見を有する外部講師を招聘し、外国語教育での生成AIや翻訳アプリケーションの利活用の実践例を学ぶ機会を設け、ワークショップで意見交換や情報共有を行う予定である。また、卒業後を見据えた社会的ニーズの高い新たな授業内活動の開発と実践（COIL、PBL、海外フィールドリサーチ）にも積極的に取り組む計画をしている。

2. 「1」を踏まえて、今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：「AIデジタル技術を活用した新たな教授法の開発と社会のニーズに即した学びの提供」

(2) 目的：令和7年度から順次導入を計画している機械翻訳・生成AIの利活用などを取り入れた学部独自の新たな学習法の確立に向け、その先行事例となる取り組みや本格的な開設に向けた調査・準備等を行いつつ、今後の学部改革を見据えたその他の新たな教育手法の導入や課題解決型の学習・教育の実施をスムーズに行うための基盤を作り、社会のニーズに即した学びの機会を提供するため基盤を作ることができる。

(3) 期待する効果：学部内で既存科目での実施例がまだ少数である中、先例となる取り組みの試行や本格的な開設に向けた調査・準備等を行い、そこで得られた効果や課題等を学部内で共有することにより、科目の新設、既存科目の改善におけるさまざまな障害を軽減し、AIデジタル技術を用いた新たな教育手法の導入や、課題解決型教育の実施を進め、社会のニーズに即した学びの機会を提供するため基盤を作ることができる。

3. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1) 公開授業・ワークショップ：「AIデジタル技術を活用した外国語習得」

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

今後の学部改革に向けて、AIや機械翻訳などを活用した授業の実践例を中心にワークショップなどを開催する予定。

(2) その他研修会等：未定

※(1)以外の学部FDとして実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

※この内容は本学におけるFD活動の一環として、本学HPに掲載します。